



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

発想の転換

園長 宮竹 恒

秋の深まりを感じる季節となってまいりました。子ども達は、元気に外遊びを行うことが多く、バドミントンやドッジボール、フットサル等を楽しんでいます。

9 月末（9 月 29 日～9 月 30 日）、「青年療法士まちづくり塾合宿」に参加された理学療法士、作業療法士の方々と子ども達が一緒に活動する機会がありました。

学校 1 階ホールで子ども達が一斉に 3 枚の布に絵を描く活動を行いました。子ども達は自由に絵を描きます。手形を押す子ども、キャラクターの絵を描く子ども、刷毛を使って大きな模様を描く子ども、最後には自分の顔や手に絵の具を使って模様を描く子どもいました。非常に自由な雰囲気の中、皆で一つの作品を完成させました。作品を創る中で、工作が大好きな A 君が作業療法士の方の発案で段ボールの判子を作りました。普段は、自分一人で終わる工作ですが、他児が判子を使うことで作品を一緒に作ることが出来、とても嬉しそうでした。A 君は、きっと自分が役に立ったと感じたと思います。そして、「人の役に立つ」と思えることは、社会に出ていく際の自信になっていくと思います。A 君の持っている力を集団の中で生かして頂いた作業療法士の方に感謝するとともに、子ども達が持っている力に気づき、社会とつなげていく発想の転換が大切であると感じました。

—了—

「第 13 回児童心理治療施設

中四国ブロック職員研修会」

10 月 25 日（木）～10 月 26 日（金）に若竹学園担当で「第 13 回児童心理治療施設中四国ブロック職員研修会」、テーマ『子どもを理解し、子どもに寄り添う為に』を開催いたしました。

中四国ブロック児童心理治療施設 10 施設より、31 名の方が参加されました。

開式後、元香川大学教育学部教授 小柳晴生氏に「現代の親子（家庭）関係を考える ～乳幼児期からのコミュニケーションの齟齬を軸に」を演題に基調講演をして頂きました。

講演では、社会の変化に伴う親子関係の変化や、子どもの心の声について教えて頂きました。また子どもの成長に欠かすことが出来ない愛情（愛着）について様々な視点からヒントを頂きました。

二日目の事例検討会では、参加された皆様方から貴重なご意見を頂く機会となりました。

研修を通して、貴重な学びの場を創って頂きました、参加者の皆様方に心より感謝申し上げます。



若竹・青峰学級だより

この頃見かけたいい風景

～学習意欲を高める～

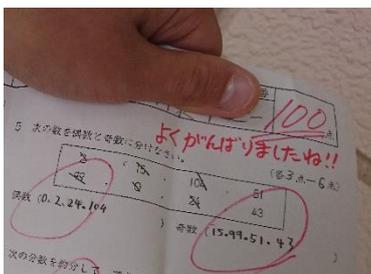
子どもたちの学習意欲が高まる機会には、3つあると言われています。

- ①満足のいく学習成績をおさめたとき
- ②進みたい上級学校が定まったとき
- ③就きたい職業が見つかったとき

最近、学習意欲が高まったと思われるいい風景を目にすることができたので、それを紹介します。

①先日、小学生の A 君が、私に駆け寄ってきました。

「先生、見て、見て。百点取ったんで。」



よほど嬉しかったのでしよう。担任でない私に満点のテストを見せて

くれました。

以前は、授業になかなか集中できていなかった A 君でしたが、最近では見違えるほど意欲的に学習に取り組むことができています。

②「やる気出てきたわ。数学が分かるようになりたい。」

先日、体験入学に参加した B さんが、生き生きとした表情で、感想を語って



くれました。「百聞は一見にしかず」と言いますが、実際に高校へ出かけ、建物を見たり、体験講座を受けたりすることで、ずいぶんといろんなことを感じとったようです。

③心理治療施設である若竹学園の子どもたちは、2週間に一度、鍼灸治療を受けています。

「私は大人になったら〇〇さんのような鍼灸師になりたい。高校卒業したら、どこへ進学したらいいかな？」

中学生の C さんが真剣な表情で、相談に来ました。夢の実現に向け、本人の学習意欲を持続できるよう、いくつかある進路を提示しました。



中学 3 年生は、私立高校受験まで二ヶ月あまり。家庭・原籍校・関係諸機関との連携を密にし、若竹・青峰学級でも皆が一丸となって夢の実現に一步一步進んでいきたいと思います。互いに十五の春を笑って迎えられるように…。

石段マラソン



今回、初めてこんぴらさんで行われた『こんぴら石段マラソン』に参加しました。表参道から御本宮まで往復 2344 段を完走するイ

ベントに最初は不安の声も上がっていました。しかし、本番 1 ヶ月前から学園の階段を使ってトレーニングを積んだ成果が出たのか、見事全員ゴールすることが出来ました。余裕だろうと言っていた子も前半で「これ辛い」と言っていたのが印象的でした。マラソンが終わった後は、みんなでアイスを食べた後、うどんを食べて学園に戻りました。大会参加時に貰った黄色い T シャツを普段の生活でも着ている子がいるのを見ていると良い体験になったのではないかと思います。



太鼓演奏

中四国ブロック児童心理治療施設職員研修会に参加された方々に学園で練習している太鼓の練習風景や演奏披露をビデオ上映ですが観て頂く機会がありました。ビデオ撮影の際、なかにはビデオを撮られることを恥ずかしが



っている児もいましたが、練習をしている内にビデオの存在が気にならないほど集中し練習に励んでいました。

演奏披露の本番では緊張しながらも普段の力を発揮できたと思います。



石鹼作り



今年の 3 月に、若竹学園の落成式がありました。その時に、ご来賓の方々に配る記念品として石鹼作りを行いました。今回、若竹学園で行われる児童

心理治療施設中四国ブロック職員研修会に向けて、再び石鹼作りを行いました。

透明な石鹼のもとと色つきの石鹼のもとを組み合わせ、それぞれ好きな色を決めた後レンジで溶かします。そしてそこにアロマオイルやハーブの葉を入れてにおいをつけます。それを電子レンジで温め混ぜ合わせ、一晩乾かして固めると完成です。以前作った子ども達も、今回初めて作った子ども達もみんな上手に作ることができました。ぜひ若竹学園にお越しの際には、子ども達の作ったハーブ石鹼を使ってみてください。



完成品です！

防災訓練

防災訓練の一環として、丸井工務店の方に来て頂き、水の入った消火器を使って、消火器の使い方の訓練を行いました。消火器を初めて使う子たちも多く、使い方を教えて頂いてから、的に向けてみんなで一斉に水を吹きかけます。「火事だー！」大きな声で周囲に危険を知らせることも、とても大切とのことでした。今回学んだことを活かして、災害の時に落ち着いて行動できると思います。



食育

今月の食育は、季節の野菜を使ったものという事で、さつまいもと、ハロウィンにちなんでかぼちゃ



を使った蒸しパンをつくりました。野菜をあらかじめ練り込んだり、潰して入れたり、

後のせで飾り付けたりと思いいきに作っていました。出来上がった蒸しパンはもちっとした食感でおいしかったようです。



上手にできました！

10 月行事

- 7 日 **こんぴら石段マラソン**
- 13 日 **図書館学習**
- 18 日 **買物学習**
- 19 日 **学校連絡会**
- 25. 26 **児童心理治療施設**
日 **中四国ブロック研修会**
- 27 日 **図書館学習**

在籍人数 平成 30 年 11 月 1 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	5	1	6
	中学生	4	3	7
	その他	0	0	0
	計	9	4	13
女 子	小学生	0	1	1
	中学生	5	2	7
	その他	0	0	0
	計	5	3	8
合計		14	7	21

編集後記

秋もだいぶ深まり、虫の音が聞こえたり、木の葉が色づいたりし、寒さも増してきましたが、子ども達は外で元気に体を動かしています。最近はバドミントンがブームです。

児童指導員 都丸瑞紀

第 297 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒